

団体名		公益財団法人 武蔵野健康づくり事業団						
①	指標名	健康づくりを新たにはじめる市民の掘り起し数			目標値	1,300人	実績値	953人
	過去の実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	達成率	73.3%	達成状況	未達成
	(単位:人)	-	-	1,180				
	取組内容	※R元年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①地域イベント等において講座実施等の情報を「健康づくり推進員」より提供した。「健康づくり人材バンク」による専門性の高い効果的な講座を実施した。②身近な場所で子育て中でも参加しやすい講座をコミュニティ協議会と共催で行うなど、若い世代への働きかけに注力した。③地域団体と連携しながら共催講座への参加を促す声掛け等の取組みを推進した。④健康づくり講座の参加により掘り起こした市民へ「健康づくりはつらつメンバー」、メールマガジン「むさしの健康づくり応援ニュース」への登録を促すなどのフォローを行った。⑤健康づくり応援パートナー店と連携した新規掘り起こしにつながる共催事業等の実施を企画した。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 指標・実績値は講座参加によって健康づくりを実践することについて意識づけられた人数をアンケートにより集計・算出したもの。平成30年度の実績を基に講座参加者の7割を目標値に掲げていたところ、結果は55% (953人/1,747人) であった。今後、健康づくりに関心が薄い層や実践に至っていない層に対し、更にアプローチを推進していく事業・仕組みについて検討実施する必要がある。一方、新型コロナウイルス感染症の影響により事業の実施方法・内容について検討が必要である。						
二次評価	様々な機会を捉え、健康づくりに対する市民の関心等を高めるための取組みに努めたことは評価する。引き続き、アンケートの結果を分析したうえで、健康づくりへの関心を高めるための適切なアプローチ方法を検討・実施して目標値の達成に向けて取り組むとともに、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた事業の実施方法等について検討・実施を進めていただきたい。							
②	指標名	健診事業収益			目標値	58,000千円	実績値	52,183千円
	過去の実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	達成率	90.0%	達成状況	未達成
	(単位:千円)	58,500	56,694	55,964				
	取組内容	※R元年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①市報掲載記事に具体的な検査項目等を載せるなど、よりわかりやすいものにした。②事業団ホームページ、全戸配布の健康づくり広報誌「むさしのけんこうづくり通信」、行政関係団体連絡協議会等において、人間ドック・職域健診についての周知に努めた。③「健康づくりはつらつメンバー」及びメールマガジン「むさしの健康づくり応援ニュース」登録者へ人間ドックの受診勧奨案内を行った。④事業団人間ドック受診歴のある方へ個別勧奨通知を発送した。⑤託児付きの人間ドックを実施し、子育て世代への受診しやすい環境づくりに努めた。⑥健診事業代行事業者との契約を継続して行った。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 新型コロナウイルス感染症の影響により、年度末人間ドック受診者数が伸びず、前年比6% (89人) 減少。人間ドック事業収入 (補助金収入を除く) は前年比2,589千円減の36,621千円となった。職域健診は受診者数が前年比2% (37人) 減少、事業収入は1,504千円減少し、14,353千円となった。健診事業収入全体では、前年比7%、3,781千円減少し、目標は達成できなかった。今後も新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、引き続き自主財源比率の向上に向けて、人間ドック事業及び職域健診事業の拡充に努めていく。						
二次評価	様々なツールを活用して、人間ドックや職域健診の周知に努めたほか、託児付きの人間ドックを実施するなど、事業団が実施する人間ドックや職域健診の利用拡大に向けた取組みに努めたことは評価する。今後は新型コロナウイルス感染症の影響により、人間ドック等への受診が減少することも懸念されるが、引き続き感染症への対策に取り組んだうえで、安全・安心な人間ドック及び職域健診の実施やPRに努め、健診事業の収益向上に取り組んでいただきたい。							
③	指標名	人材育成指針			目標値	作成に向けた検討	実績値	作成に向けた情報収集
	過去の実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	達成率	30.0%	達成状況	未達成
	(単位:)	-	-	-				
	取組内容	※R元年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①職員の能力を伸ばし資質を向上させるために必要な人材の育成方針について、他団体における方針や取組み等について情報を収集した。民間研修団体で実施する人材育成に関する研修会に参加し情報収集を行った。 ②事業団における計画目標を達成しビジョンを実現していくために職員に求められる姿勢、能力、具体的な行動等について確認、検討を行った。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 具体的な指針や目標の検討には至っていないが、事業団として相応しい人材育成に関する方針について検討する前提の整理から取組みを開始した。今後、職員に求められる行動理念や姿勢等を明確化し、育成していくための手法、研修、制度等を含め、指針の作成に向けた検討を更に進めていく。						
二次評価	事業団の計画目標の達成やビジョンの実現において、人材は重要な「財産」であるため、その育成方針の作成に取り組み始めたことは評価するが、より具体的な内容について、策定の目標年次を定めたいうえて検討を進めていただきたい。							